

「エコプロダクツ 2015」に出展しました

12月10日(木)～12日(土)の3日間の日程で、東京ビックサイトで開催された「エコプロダクツ 2015」に出展しました

内閣府と「環境未来都市」構想推進協議会は、アジアを代表し国内最大級の環境・エネルギーの総合展示会である「エコプロダクツ 2015」に出展しました。

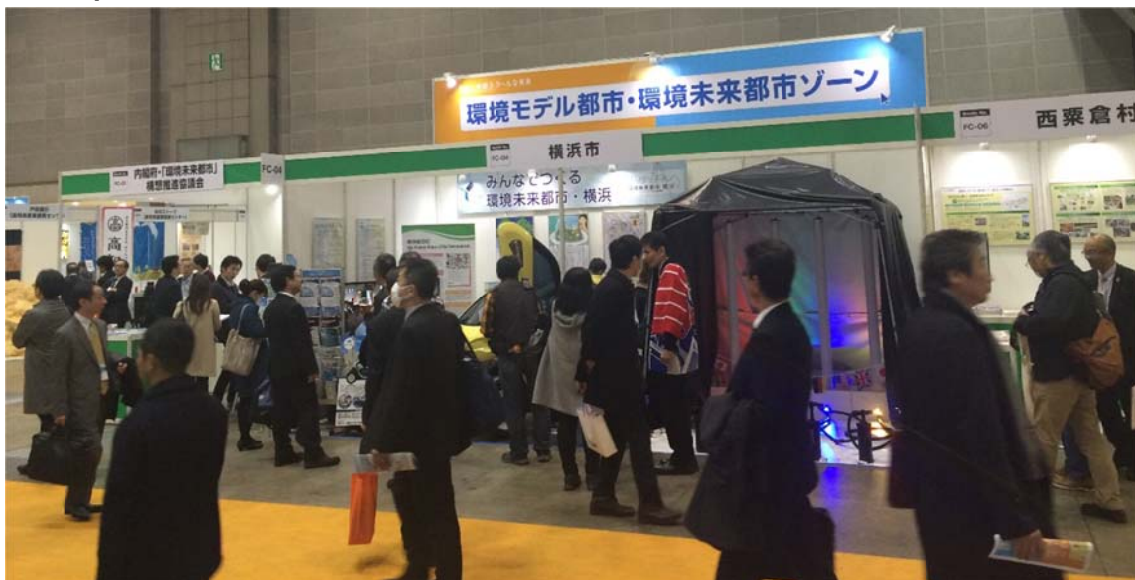
低炭素社会の実現に向けた取組や超高齢化対応の取組等を推進する「環境未来都市」構想の普及に向けて、各都市の先進的な取組や、幅広い活動に関して積極的に紹介しました。

会場の様子



12月10日(木)～12日(土)の3日間で、約17万人が来場しました。

内閣府/「環境未来都市」構想推進協議会の展示ブース



内閣府/「環境未来都市」構想推進協議会とともに、3市2町1村の自治体がブース出展し「環境モデル都市・環境未来都市ゾーン」にて本構想の趣旨とそれに基づく各都市の取組みを紹介しました。



本ブースにおいては、パネルやパンフレットにより「環境未来都市」構想の考えと、その事案を紹介するとともに、富山市で開催された「環境未来都市」構想推進国際フォーラムでの福岡副大臣の基調講演映像や環境未来都市・環境モデル都市の取組紹介動画を放映しました。

ステージイベントにて、環境未来都市・環境モデル都市の皆様が登壇しました

12月11日(金)、イノベーションステージにて、「地方創生で日本の未来を拓く～環境未来都市の挑戦」をテーマに行われた2つのイベントに、各都市の皆様が登壇しました。

第1部「パネルディスカッション」

地方創生と環境未来都市の取組みについてパネルディスカッション方式で議論しました。

環境や超高齢化などの課題に立ち向かう環境未来都市である横浜市、柏市の2自治体において活躍される2名のパネリストから、持続可能な社会づくりに向けた最新の取組をご紹介します。

- ・コーディネーター：内閣府地方創生推進室 室長 奥田 知子 氏
- ・パネリスト：横浜市環境未来都市推進課 課長 岩岡 敏文 氏
柏市企画部 参事 奥山 勤也 氏

ステージ会場の様子



ディスカッションでは、各都市の取組み事例をもとに、地方創生に向けた官民や都市間などの様々な連携のあり方について闊達な議論が展開されました。

議論の中では、「地域の特性を踏まえ、民間企業や大学等、多様な主体との連携協力により、イノベーションが起きる。連携は、行政に不足している情報やノウハウの共有や、民間投資を引き出す事業展開など、行政・企業双方にとってメリットが考えられる。」「連携協力には、官民のギャップを埋める努力が必要であり、連携するための体制整備が必要。また、時代の変化や課題に敏感に対応していくことが円滑に進める上で重要。」「様々な立場の人々と連携し、地域の特性を活かしながら地方創生を進めていくことが、日本の未来を切り拓くことにつながる。」「環境問題や超高齢化への対応は、世界共通の課題でもある。海外の都市と相互に学び合うことが必要。」など、今後の取組推進に対する提言とも言える発言がなされました。

第2部「取組紹介」

「環境未来都市」構想に基づいて様々な取組に挑戦する環境未来都市の下川町、富山市、北九州市、環境モデル都市のつくば市、梶原町、西粟倉村より、現場の最前線で活躍する担当者が、自らの言葉で最新の取組を紹介しました。

- ・登壇者：下川町環境未来都市推進課観光振興グループ 主査 高原 義輝 氏
富山市環境部環境政策課環境未来都市推進係 係長 東福 光晴 氏
北九州市総務企画局政策調整課政策調整係 係長 中嶋 貴宏 氏
つくば市スマートシティ推進課 主査 中村 和彦 氏
梶原町環境モデル都市推進室 室長 中越 健三 氏
西粟倉村産業観光課 主任 白簀 佳三 氏

ステージ会場の様子

